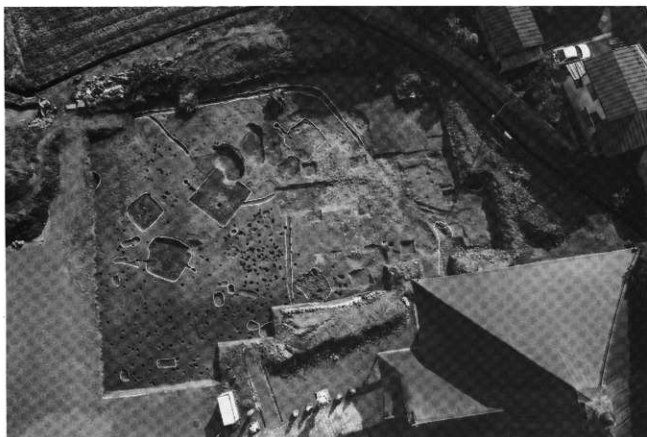


盛岡市遺跡の学び館

平成22年度 館報



館野前遺跡 第1次調査区全景

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

盛岡市は南部盛岡藩の城下町として、また岩手県の県都として、多くの先人が築いた礎のもと、今日まで発展してきました。当市の目指すまちづくりは「人々が集まり、人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」をスローガンとし、また教育施策の基本理念の教育ビジョンでは、「ふるさとの文化の継承・創造・発信」を施策の柱としています。

そのような自然景観や歴史文化が維持され、「杜と水の都」として知られる盛岡市は、岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめ、市内をいくつもの清流が悠々と流れ、当館も雫石川南岸に広がる緑豊かな市中央公園の一角に位置しています。広大な公園内には岩手県立美術館・盛岡市先人記念館・盛岡市子ども科学館など博物館・美術館施設が設置され、近隣する原敬記念館や志波城古代公園を含め、付近は美術・人物・科学・歴史とジャンルの異なる6施設が集中する名実ともに文化の継承・創造・発信のミュージアムゾーンとなっております。

当館は平成16年度に埋蔵文化財の調査・整理・収蔵を行なう埋蔵文化財センター機能と、出土品の展示や遺跡についての体験学習などが行なえる博物館機能を兼ね備えた施設として設置されました。

毎年、埋蔵文化財発掘調査が実施されていますが、22年度は市内28カ所で行われ、大規模区画整理事業として平成4年度から実施されている盛南開発事業関連調査では、本宮・向中野地区の5遺跡6地点を対象に行なわれ、また民間開発・市公共事業及び個人住宅建築など、さまざまな開発事出による発掘調査を含めると、22年度の調査面積は25,000㎡以上にも及びます。その調査成果は逐次、報告書として刊行しますが、本書では速報としてその概要をまとめました。

また展示公開などの学芸事業では、藩政時代から城下で焼かれた陶磁器を中心とし、「もりおかで焼かれた“やきもの”—セトモノから煉瓦まで—」と題して、企画展や講座を開催いたしました。

また関連事業として、城下盛岡の山藍焼や花古焼の流れを汲む花巻焼について、花巻市立博物館の酒井宗孝さんをお招きし、「花巻のやきもの」と題して講演会を行っていただき、好評を博しました。そのほか史跡めぐりや体験学習など多彩な内容の事業を行ってまいりましたが、これからも市民をはじめ、多くの皆様をお迎えできるよう、内容のさらなる充実を図りまして職員一同励んで参りたいと存じます。

今後とも関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

盛岡市遺跡の学び館

館長 田山 浩 充

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成22年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成21年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたもので、一部の遺跡については報告書刊行済みであるが、大半は今後別途刊行予定である。
- 4 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載についての例言は以下のとおりである。
 - (1) 遺構の平面位置は公共座標X系を座標変換した調査座標で表示した。なお、座標は日本測地系を使用している。座標原点は以下のとおりである。
・上堂頭遺跡 X=-30,000.000 Y=+25,000.000
 - (2) 高さは標高値をそのまま使用している。
 - (3) 土層図は堆積の仕方を重視し、線の太さを使い分けた。土層注記などは本文でふれる以外は割愛した。層相の観察にあたっては、『新版標準土色帖』（1994 小山正忠・竹原秀雄）を参考にした。
 - (4) 遺構記号は堅穴住居跡：RA、建物跡：RB、柱列跡：RC、土坑：RD、堅穴：RE、焼土遺構：RF、溝跡：RG、配石・集石遺構：RH、古墳など：RXとした。
 - (5) 本書に使用した地図は、『盛岡広域都市計画図1：10,000』、『盛岡市遺跡地図2008年版』ほかを縮小して使用。スケールは任意であるが、およそ1：15,000～1：20,000である。
 - (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

目 次

はじめに 例言 目次

I 沿革	1
II 施設概要	2
III 管理運営 条例・規則等 職員体制	4
IV 事業概要	
1 管理運営	5
・遺跡ネットワーク整備委員会 ・利用者数一覧	
2 学芸事業	7
3 埋蔵文化財発掘調査	14
○公共事業関連	16
○民間開発関連	18
○個人住宅建築等	21
報告書抄録	24

I 沿 革

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

建築工事は11月28日に完了し、12月下旬には津志田地内にあった「文化財室」(旧中央卸売市場事務所棟)から文化財調査資料整理作業の機能を移転し、当施設において作業を開始した。

展示施設製作は11月まで施工会社での模型や展示什器、各種演出に係る装置の製作を行い、11月の施設引渡しを受けて現地での製作に着手。各種グラフィックパネル等の製作を経て、翌年の2月25日に作業を完了。各種備品購入や機器取り付けも同3月までに完了し、施設名称を「盛岡市遺跡の学び館」と定め、平成16年6月1日に開館式典を挙行し、同日開館した。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成23年3月末	開館以来の利用者数85,008人

3 事業費等

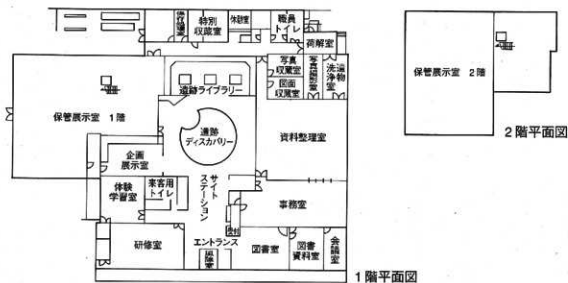
・建設事業費 677,123千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755千円
建築設計委託	24,985
建築工事費	455,490
土木工事費	43,543
展示計画策定業務委託	8,820
展示施設製作業務委託	91,308
備品購入費	44,700
その他	6,909

建築設計	株式会社三衛設計舎
展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築主体工事	株式会社阿部正工務店
敷地造成工事	有限会社東北農林建設
電気設備工事	新興電機株式会社
給排水設備工事	有限会社門坂工業
機械設備工事	中央水道土木株式会社
地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
敷地植栽工事	株式会社やまいわ
簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

II 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋（一部重層）			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積 2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室（450.8㎡）、企画展示室（81.4㎡）、展示器材室			
	教育普及部門	研修室（117.0㎡）、図書資料室（47.7㎡）、図書室（66.3㎡）、体験学習室（70.9㎡）、研修器材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室（897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡）、特別収蔵室（46.5㎡）、写真収蔵室（27.2㎡）、図面収蔵室（27.2㎡）			
	調査整理部門	資料整理室（237.2㎡）、遺物洗浄室（37.1㎡）、写真撮影室（28.8㎡）、保存処理室（14.7㎡）			
	管理部門	会議室（30.8㎡）、事務室（157.7㎡）、荷解室（24.5㎡）、休憩室（12.7㎡）			



外観



展示室（遺跡ライブラリー）

第1図 館内平面図・外観写真

【収蔵資料】

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	H22年度発掘調査分	・西黒石野遺跡・小山遺跡・台太郎遺跡・蟹V遺跡 ・西鹿渡遺跡・二又遺跡・飯岡新山遺跡・館野前遺跡	小コンテナ 32箱
	今までの 調査資料	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器 ・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約5,300点
	破片等 コンテナ 収納資料	・プラスチックコンテナ収納(土器・石器破片、自然遺物含む) ※大コンテナ503×700×397mm、小コンテナ387×586 ×142mm	大300箱 小15,700箱
	寄贈寄託	・個人コレクション ・奥健夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	・模型・レプリカ ・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—	
調査記録 資料	図面	・図面(原図・第2原図・遺物実測図等)	約3,300枚
	写真	・写真(モノクロ・カラーネガ:35mm、6×7、4×5) ・カラースライド(35mm、6×7) ・デジタル画像(700MB:CD・DVD)	約130,000コマ 約44,000コマ 約300枚

【年間事業費】(平成22年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	34,919,941円 (うち国補助19,606千円)	・施設設備の維持管理及び修繕、遺跡ネットワーク整備委員会の開催経費等 ※太陽光発電システム工事費を含む
学芸事業	3,268,588円 (うち国補助1,390千円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、資料管理システム等
盛岡遺跡群発掘調査事業	4,989,437円 (うち国補助2,295千円、 県補助918千円)	・個人住宅建築に係る事前調査及び指定史跡の内容確認調査等(発掘調査、資料整理及び発掘調査報告書の刊行)
埋蔵文化財調査事業	1,337,278円	・公共事業(市道建設、下水道工事等)にともなう発掘調査
盛岡開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業	30,264,849円 (うち起債7,000千円、 受託事業収入11,000千円)	・盛岡開発事業に係る発掘調査及び活用事業

【太陽光発電システム等設置工事】(平成22年度 環境省補助)

地球温暖化対策推進法に規定する「地球温暖化対策地方公共団体実施計画」に基づく中核市及び特別市グリーンニューディール基金(公共施設省エネ・グリーン化推進事業:100%補助)を導入し、太陽光パネルの設置と展示室及び共用部分の照明装置の一部LED化を行った。

屋上に設置した太陽光パネルの発電容量は10kw相当で、既存照明装置のうち、玄関ポーチ・エントランス・受付のダウンライト、遺跡ディスカバリー・遺跡ライブラリー・企画展示室・保管展示室のベースライト・スポットライト・間接照明等を主体にLED照明への交換を実施した。

工事名	事業費(決算額)	事業内容
盛岡市遺跡の学び館 太陽光発電システム 等設置工事	19,605,600円	・太陽電池モジュール・パワーコンディショナー等受電関係及びデータ管理システム工事 ・展示室及び共用部分の照明装置の一部LED化



太陽光パネル設置状況(屋上)



LEDライトの設置状況(企画展示室)

III 管理運営

1 条例・規則等

盛岡市道跡の学び館条例 平成16年3月31日条例第29号

(前条)

第1条 この条例は、道跡の学び館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的) 第2条 市民の教育及び文化の向上に資するため、豊かな地域文化を醸成し、及び道跡について積極的に学習する場を提供する施設として、道跡の学び館を次條のとおり設置する。

名称	位置
盛岡市道跡の学び館	盛岡市本町字荒田13番地1

(使用の許可等)

第3条 道跡の学び館を使用しようとする者は、教育委員会長の許可を受けなければならない。

第4条 教育委員会は、道跡の学び館の使用が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前條の許可をしないものとする。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。

(2) 施設又は設備を損壊し、汚損し、又は失くすおそれがあるとき。

(3) 第2号に掲げるもののほか、道跡の学び館の管理に支障を及ぼすと認めるときは、教育委員会は、道跡の学び館の管理上必要なと認めるときは、前条の許可を付することができる。

第5条 道跡の学び館に関する資料の複製、転写等しようとする者は、教育委員長の許可を受けなければならない。

第6条 前条第3項及び第3条の規定は、前條の許可について適用する。

(許可の取消し等)

第7条 教育委員会は、道跡の学び館の管理上必要があると認めるとき又は第3条第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という)が次の各号のいずれかに該当するときは、第3条第1項又は第3条第2項の許可を取り消し、第3条第3項(前条第2項において準用する場合を含む。以下同じ)の条件を変更し、又は許可の中止若しくは道跡の学び館からの退去を命ずることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 前号の各号の規定により第3条第1項又は第3条第2項の許可を受けたとき、第3条第1項又は第3条第2項の許可を受けた後において第3条第2項各号(前条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当するに至ったとき。

(3) 第3条第3項の条件に違反したとき。

(許可の停止)

第8条 使用者又は特別利用者は、道跡の学び館において次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 許可を受けない物品の搬入その他の行為をすること。

(2) 許可を受けない印刷物、ポスター等を掲示し、又は記載すること。

(使用料)

第9条 使用者から別表に定める使用料を徴収する。

第10条 前項に定めるものは、その複製を使用者が自ら複製して定める使用料を徴収する。

第11条 使用料は、第3条第1項の許可の範囲に徴収する。

(使用料の返付)

第12条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用料を返付することができる。

(1) 前条第9条第1項(別表に定める使用料)第2号に規定する事業者(以下「指定者」という)及び当該事業者の介護を行う者が道跡の学び館の施設等を使用するとき。

(2) 指定者が道跡の学び館の施設等又は修繕費等を償還して使用するとき及び道跡の学び館を障害者の福祉の増進に資するものとき市長が認めるものに使用するとき(資力増進を目的とする場合を除く。)

(3) 前号に掲げる場合のほか、市長が公益上その他特別の理由があると認めるとき。

(使用料の滞り)

第13条 道跡の学び館は、貸付し、又は貸し出したときは、使用者の滞りをするときがある理由により道跡の学び館を滞りさせたことその他の理由があると市長が認めるときは、使用料の全部又は一部を滞りさせることができる。

(罰則)

第14条 道跡の学び館に給料は必要事項を置く。

(罰則) 第15条 この条例に定めるもののほか、罰金から罰9千までについて必要な事項は市長が、その他道跡の学び館の管理について必要な事項は教育委員会が定める。

附 則 第16条 この条例は、教育委員会決定で定める日から施行する。
平成16年教育委員会決定第7号で平成16年6月1日から施行
2 盛岡市都市公園条例(昭和55年条例第10号)の一部を次のように改正する。

(次のように) 第 第7条(第7条) 第1項 個人利用料(個人1日につき) 団体利用料(個人1日につき) 個人利用料(個人1日につき) 個人利用料(個人1日につき) 個人利用料(個人1日につき) 個人利用料(個人1日につき)

場合に於けるこの表の適用については、「100円」とあるのは「50円」と、「800円」とあるのは「40円」とする。

区分	午前9時から午後5時まで			午後1時から午後5時まで			午後9時から午後3時まで		
	個人	団体	学童	個人	団体	学童	個人	団体	学童
観覧料	100円	1,000円	1,000円	100円	1,000円	1,000円	100円	1,000円	1,000円
観覧料	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円
学童観覧料	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円

盛岡市道跡の学び館管理運営規則

平成16年5月31日教育委員会規則第8号
改定 平成17年3月29日教育委員会規則第4号

(目的)

第1条 この規則は、道跡の学び館の管理運営の基本的事項に關し必要な事項を定めるものとする。

(観覧時間) 第2条 道跡の学び館の観覧時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要であると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日) 第3条 道跡の学び館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要であると認めるときは、あらかじめその日に臨時休館することができる。

(1) 月曜日(その日(日を除く。))が祝日の日にあつたとき(第23条法律第178号)に規定する日(以下「休日」という。))に当たるときは、その日以後においてその日に繰り越した日とする。

(2) 毎月1日(休日を除く。)

(3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

一 第4条(平成17年教育委員会規則第4号)

(許可の申請) 第4条 盛岡市道跡の学び館条例(平成16年条例第29号。以下「条例」という)第3条第1項の許可のうち、道跡の学び館の展示物の展示の許可を受けようとする者は、前條で許可を求めなければならない。ただし、当該許可の許可を受けようとするときは、盛岡市道跡の学び館施設等利用許可申請書に提出しなければならない。

第5条 条例第3条第1項の許可のうち、道跡の学び館の施設等又は修繕費等を償還して使用することを申請する者は、盛岡市道跡の学び館施設等利用許可申請書に提出しなければならない。

第6条 前項の申請は、修繕費等を使用しようとする日の5日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が道跡の学び館の管理運営上支障がないと認めるときは、この限りでない。

(許可の取消し等) 第7条 教育委員会は、道跡の学び館の施設等に関する条例第3条第1項の許可をしたときは、次の各号に掲げる使用の範囲に於いて、当該各号に定める許可又は入場券を交付するものとする。

(1) 団体利用 盛岡市道跡の学び館施設等団体入場券

(2) 個人利用 盛岡市道跡の学び館施設等個人入場券

第8条 教育委員会は、修繕費等に係る条例第3条第1項の許可をしたときは、盛岡市道跡の学び館施設等利用許可申請書に提出するものとする。

第9条 条例第3条第1項の許可を受けた者は、道跡の学び館を使用しようとするときは、前條の規定により交付された許可書又は入場券を所持して観覧し、又は展示しなければならない。

(資料の特別利用) 第10条 条例第4条第1項の許可を受けようとする者は、盛岡市道跡の学び館施設等利用許可申請書に提出しなければならない。

第11条 教育委員会は、条例第4条第1項の許可をしたときは、盛岡市道跡の学び館施設等利用許可申請書に提出するものとする。

第12条 この規則に定めるもののほか、道跡の学び館の管理について必要な事項は、教育委員会が定めるものとする。

附 則 第13条 この規則は、平成16年6月1日から施行する。

第14条(平成17年教育委員会規則第4号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

盛岡市道跡の学び館の使用料に関する規則

平成16年5月31日教育委員会規則第27号

(目的)

第1条 この規則は、盛岡市道跡の学び館条例(平成16年条例第29号。以下「条例」という。)の規定に基づき、道跡の学び館の使用料に關し必要な事項を定めるものとする。

(資力の増進を目的とする) 第2条 条例第7条第2項の規定で定める使用料は、別表のとおりとする。

(減額の特例) 第3条 条例第8条の規定により使用料の減額を受けようとする者は、盛岡市道跡の学び館施設等利用許可申請書を市に提出しなければならない。

第4条 前項の規定にかかわらず、条例第8条第1号に規定する障害者で次に掲げる手紙の交付を受けているもの(その者の保護者等が交付を受けているときは、本人)又は同号に規定する障害者であることを証明するもの(以下「申込者交付者」という。)及び当該申込者交付者等の介護を行う者が道跡の学び館の展示物を

個人で使用する場合は子館開放付等が建設の学び館の移設又は修繕予算を個人で使用する場合は所定の申請書の提出については、当該手帳交付者等においては当該手帳又は書面の、当該手帳交付者等の名義の行う書にあっては当該介助を行う手帳交付者等に該当する当該手帳又は書面の提示をもってこれに代えることができる。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第154条第1項の身体障害者手帳
- (2) 精神障害者福祉法（昭和35年法律第168号）第4条第1項の障害者手帳
- (3) 知的障害者福祉法（昭和49年法律第123号）第45条第1項の知的障害者手帳交付付手帳
- (4) 加齢障害者福祉法（昭和49年法律第123号）第45条第1項の加齢障害者手帳交付付手帳

第3条 条例第24号の表の欄第2の規則で定める日、毎月の第2土曜日及び第4土曜日とする。

（使用料を減額する旨）

第4条 条例第24号の表の欄第2の規則で定める日、毎月の第2土曜日及び第4土曜日とする。

（使用料を減額する旨）

第5条 条例第24号の表の欄第2の規則で定める中学校卒業及び小学校卒業は、その区域内に住所を有する中学校生徒及び小学校児童並びに市の区域外に住所を有する者でその区域内にある中学校（北隣の中学校を含む。）及び小学校（南が丘小学校を含む。）に就学しているものとする。

附 則

この規則は、条例の施行の日（平成16年6月1日）から施行する。

別表（第2条関係）

区分	使用料	
	単価	定価
舞台設備	舞台（可動型）	1台 3,000円
	舞台（固定型）	1台 5,200円
	スエーツ	1台 1,300円
音響設備	音響機器	1式 1,500円
	スピーカー	1式 260円
	マイクスタンド	1本 1,300円
映像設備	マルチメディアプロジェクター（タース付き）	1式 300円
	マルチメディアプロジェクター	1式 1,300円
	ビデオ-拡張DVDプレイヤー	1台 200円
文芸用設備	テレビ	1台 260円
	電子辞書	2冊 2,800円
	音読ふくろ	1台 390円
	音読ふくろ	1台 130円
	グラウンダー	1台 290円
	電動糸のこぎ	1台 290円
その他の設備	電子辞書	1台 290円
	指差し板	1式 390円
	移動型スクリーン	1台 180円
	レーザープリンター	1台 180円
	液晶投影機に係る電気使用	140円/時/台

備考 午前9時から午後5時まで使用する場合は使用料の額は、この表に掲げる額に2を乗じて得た額とする。

2 職員体制

館長(兼) 亀山 助 正

館長補佐(兼) 千田 和 文

[管理・学芸班]

(主任1 主事1 非常勤3)

主任(兼) 江 本 敦 史
 主事(兼) 明 地 幹 子
 文化財調査員(非常勤) 吉 田 里 和
 学芸調査員(非常勤) 相 馬 容 子(6月退職)
 学芸調査員(非常勤) 佐々木 逸 人
 学芸調査員(非常勤) 大 平 佳 澄(7月採用)

[調査班]

(主査3 主任1 非常勤2)

文化財主査(兼) 菊 地 幸 裕
 文化財主査(兼) 津 嶋 知 弘
 文化財主査(兼) 神 原 雄 一
 文化財主任(兼) 佐々木 亮 二
 文化財調査員(非常勤) 鈴 木 賢 治
 文化財調査員(非常勤) 佐々木 紀 子

IV 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用のため、遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の運営に関することについても所掌することになった。

【期 日】 平成23年2月25日（金）13:30～15:00

【会 場】 当館 研修室

【出席者】 委員長 嶋 千秋（盛岡市文化財保護審議会委員）

委員 大橋文四郎（盛岡市小学校長会岩手大学教育学部附属小学校副校長）
 潮川 君雄（株）東広社常務取締役） 熊谷 常正（盛岡大学文学部教授）

教育委員会 萬明夫教育次長、
 亀山助正歴史文化課長兼
 遺跡の学び館長
 歴史文化課及び当館職員

【議 事】 報告 ・平成22年度遺跡の学び館事業報告
 （埋蔵文化財発掘調査の成果、展示活動、体験学習等活動、もりとびあねっと事業等）

協議 ・平成23年度遺跡の学び館事業計画（案）
 について



月	一般										小学生										入場者総計	入場券計	入場券別室計	入場券以外の利用者数 （団体観覧券、修学旅行券、学芸鑑賞券、学芸鑑賞券、学芸鑑賞券、学芸鑑賞券）	利用者総数	閉場日数										
	有料入場者数					入場料免除					有料入場者数					入場料免除																				
	個人	2人 100円	4人 200円	小計	障がい者	中学生以上	小学生	幼児	その他	小計	一般	障がい者	中学生以上	小学生	幼児	その他	小計	障がい者	中学生以上	小学生							幼児	その他	小計							
H22 4月	119	26	126	15	31	0	3	18	10	13	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	209	427	427	4	146	80	0	697	25			
5月	288	59	347	1	15	0	16	3	20	65	386	408	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	527	523	1,359	1	443	100	0	1,475	26			
6月	27	30	57	2	21	0	6	13	2	48	118	214	55	208	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400	609	1,079	4	267	174	31	1,125	24			
7月	158	31	189	5	18	0	15	7	12	5	140	138	64	262	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	222	585	2,614	11	327	97	16	1,086	26			
8月	342	2	344	14	18	0	10	0	0	16	117	592	309	1	310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315	879	3,495	5	477	54	0	1,421	28		
9月	134	2	136	3	9	0	15	0	2	110	262	162	28	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	244	586	3,995	10	104	24	0	704	25			
10月	159	0	159	5	86	0	22	6	3	157	347	74	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109	458	4,451	5	72	163	0	886	25			
11月	85	2	87	116	2	84	51	0	0	1	125	244	52	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	287	4,748	4	60	72	29	462	25			
12月	80	31	111	5	5	0	0	0	2	0	9	102	8	28	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	138	4,886	1	92	25	0	220	24			
H23 1月	130	26	156	177	3	10	1	6	3	28	205	67	0	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118	303	5,189	8	208	72	0	591	23			
2月	67	67	134	2	138	4	5	25	3	0	5	25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	227	5,418	3	13	246	0	488	23			
3月	35	0	35	7	33	0	66	94	0	5	1	196	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	211	5,627	5	0	113	0	398	25			
計	1,634	224	1,858	333	39	2,240	55	328	259	121	54	1,334	1,930	289	1,662	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	78	3,655	411	5,827	7,698	61	2,256	1,226	76	9,251	288

(注1) 団体観覧券は主催行事のつち、出陣旗鑑印と照合を要する。
 (注2) 観外青券とは主催行事のつち、出陣旗鑑印と照合を要する。
 (注3) 2階席・4階席とは、当該を含む100席のうち、2階席または4階席を利用できる共通席である。

表1 平成22年度 盛岡市遠征の学び館利用者数

2 学芸事業

今年度の当館主催の学芸事業として企画展示室においてテーマ展・企画展、22年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全5回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。各種展示普及活用事業及び常設展示室整備・資料管理システム整備には市費及び埋蔵文化財保存整備活用事業（国庫補助）を活用した。

(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展「文化財に指定したい？発掘資料」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成22年6月24日(木)～平成22年9月5日(日)	来場者数	1,761名
展示構成	<input type="checkbox"/> 出土する近現代の生活資料 <input type="checkbox"/> 型紙摺りや銅板転写 <input type="checkbox"/> 盛岡の煉瓦建築 <input type="checkbox"/> 土敷免祭の煉瓦 <input type="checkbox"/> 尾高・渋沢と盛岡 <input type="checkbox"/> 陸軍境界石 <input type="checkbox"/> 不燃ゴミが資料となる時 <input type="checkbox"/> 通い徳利 <input type="checkbox"/> ターナブル瓶 <input type="checkbox"/> 全線サイダーのガラス瓶	展示資料数	158点
概要	発掘調査の際、現場ではよく「後世の擾乱を受けている」という表現が用いられる。これは検出された古い時代の遺跡が、近現代（明治期以降）の建物基礎やゴミ穴などの掘削により、地中で一部もしくは大半が壊されてしまった状態のことを言うが、視点を変えてみると、明治・大正期以降の擾乱も後世における土地利用の一端を示すもので、過去から現在に至るまでの歴史の一部として捉えることもできる。発掘では地表面に近いところから始めるため、新しい時代の明治・大正そして昭和初期の資料が出上る。今回の展示会ではそのような一昔前の「遺物」について、懐かしさだけでなく、その製作や流通を考え、また当時の人々の暮らしぶりや近代化・都市化に懐かしいながらも、まだ環境にやさしいエコな時代だった頃の資料を展示した。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第9回企画展「もりおかで焼かれた“やきもの”一セトモノから煉瓦まで」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成22年9月18日(土)～平成23年1月23日(日)	来場者数	1,379名
展示構成	<input type="checkbox"/> もりおかややきもの文化 <input type="checkbox"/> 城下で焼かれたやきもの <input type="checkbox"/> 明治期以降の窯業生産	展示資料数	312点
概要	日本における「やきもの」の歴史は古く、そのはじまりは約1万5千年前の縄文土器までたどることができ、古代を経て12世紀以降には、大陸からのやきもの技術も伝わり、六古窯に代表される中世陶器の時代を迎える。17世紀初頭以降は肥前唐津、京・信楽、瀬戸・美濃の三大先達地を中心に全国に広まり、陶工たちの移住や技術の伝播により、18世紀中葉からは徐々に東北にも地方窯が築かれるようになった。東関東でも江戸初期の盛岡城築城期には瓦窯が創設されるが、地元産の陶磁器が流通するようになるのは、江戸後期の文化・文政期以降で、藩の御用窯や民間の窯が多く築かれた。今回の企画展では、盛岡やその周辺の窯業文化について、近年の発掘調査資料と、今まで伝世されてきた資料を中心に展示した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第28回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する～平成22年度調査速報～」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成23年2月9日(水)～平成23年5月15日(日)	来場者数	1,125名
展示遺跡	内鹿渡遺跡、台太郎遺跡、飯岡沢田遺跡、二又遺跡、小山遺跡、館野前遺跡、長善寺経塚	展示資料数	130点
概要	発掘された遺跡の調査概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開した。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展チラシ



企画展チラシ



資料展チラシ

【講演会】(企画展関連)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成22年10月3日(日) 13:30~15:30	講演会「花巻のやきもの」 花巻市博物館 学芸係 上席副主幹 酒井宗孝氏	15名

【学芸講座】(企画展関連)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成22年9月19日(日) 13:30~15:00	学芸講座①「岩手のやきもの」 当館 千田和文 館長補佐	18名
平成22年11月14日(日) 13:30~15:00	学芸講座②「盛岡の窯業遺跡」 当館 神原雄一郎 文化財主査	26名
平成22年11月28日(日) 13:30~15:00	学芸講座③「発掘された寺町窯」 当館 佐々木亮二 文化財主任	22名



企画展「もりおかで焼かれた“やきもの”」①



企画展「もりおかで焼かれた“やきもの”」②



企画展関連講演会



企画展関連講座



企画展関連講座と資料解説



第28回埋蔵文化財調査資料展

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成22年6月13日(日) 9:30~16:00	「バスツアー もりおか史跡・遺跡めぐり①」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	31名
平成22年7月11日(日) 13:30~16:30	「縄文土器をつくってみよう！」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	23名
平成22年7月24日(日) 13:30~15:00	「縄文土器を野焼きしてみよう！」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	20名
平成22年9月12日(日) 13:00~15:30	「考古学者になってみよう！遺跡発掘体験」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	27名
平成22年9月26日(日) 10:00~15:00 10月3日(日)10:00~12:00	「ロクロをつかってやきもの作り！」 講師 松田昭夫氏・当館職員・サポーターズクラブ	15名
平成22年10月17日(日) 10:00~15:30	「縄文ウォーキング生活体験」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	6名
平成22年11月7日(日) 9:00~16:00	「バスツアー もりおか史跡・遺跡めぐり②」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	33名
平成23年2月20日(日) 13:30~16:30	第5回「名人に学ぶ！カゴ作り体験」(親子) 講師 佐々木光恵氏(佐々木竹かこ)・柴田明子氏(柴田泰家工芸社) 支援：サポーターズクラブ	26名



バスツアー 史跡・遺跡めぐり①



縄文土器をつくってみよう！



縄文土器を野焼きしてみよう！



考古学者になってみよう！遺跡発掘体験



縄文ウォーキング生活体験



カゴ作り体験

【個人体験学習会】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク 個人体験学習会	平成22年4月29日(木)～ 5月5日(日)：7日間	午前の部10：00～11：30 午後の部13：00～14：30 勾玉作り・土玉彩色・拓本 づくり(有料)、火おこし (無料)	勾玉作り103名、土玉彩色54名、 拓本1名、火おこし292名
夏休み個人体験学習会	平成22年7月31日(土)～ 8月12日(木)：12日間		勾玉作り116名、土玉彩色77名、 拓本19名、火おこし381名
冬休み個人体験学習会	平成23年1月5日(水)～ 1月16日(日)：11日間		勾玉作り59名、土玉彩色48名、 拓本3名、火おこし195名



春の体験学習会



チラシ

(3) ボランティア活動や地域連携活動

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して5年目を迎えた。本年度の会員数は12名で、当館行事の春・夏・冬の個人体験学習会・バスツアー・土器作り・野焼き・遺跡発掘体験や大規模店舗でのもりとびあねっとPRなどの支援事業を中心に精力的に活動をしていただいた。

また自主活動として土器作りの技術向上のための勉強会や会員の親睦・史跡見学・他地域のボランティアさんとの交流を兼ねた研修旅行(研修先：平泉文化遺産センター・花巻市博物館等 期日：平成22年10月31日(日))を企画し、9名が参加された。またサポーターズクラブの意見交換や事業記録として「サポーターズ通信」の編集発行も行った。



館内支援活動(個人体験学習会)



館外支援活動(イオンでのPR活動)



館外支援活動(志波城まつり)



研修旅行

【盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク」（略称もりとびあねっと）は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設（岩手県立美術館・盛岡市原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園）で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間の連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が「美術・歴史・科学・先人（人物）」などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図るための企画を展開した。

催事のタイトル	開催期間（日）	内 容	参加者
ぐるり☆もりとびあスタンプラリー	平成22年7月17日（土）～9月26日（日）	施設PRとして、スタンプラリー台紙を小学生児童に配布。7会場中、4カ所の押印で記念品贈呈。	6施設全体のスタンプ押印者数3,130名、記念品交換者数534名
古代の装飾具でストラップ作り	平成22年9月23日（木）～13：30～16：30	地元大型SCを会場として、勾玉をかたどった粘土に彩色し、ストラップ作りを行った。（サポーターズクラブ支援）	81名
もりとびあネットシンポジウム「水の記憶」	平成22年10月10日（日）～14：00～16：00	・基調講演「雫石川サイクリング」講師 斎藤 純氏 ・トークセッション「水のある暮らし」 寺井 良夫氏・金野 万里氏・藤村 幸雄氏ほか	75名

（4）研修・実習活動

【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体（会場）	参加者
平成22年4月30日（金）	市教育委員会初任者研修	市教育委員会学校教育課（遺跡の学び館）	6名
平成22年8月4日（水）	平成22年度 盛岡市教育研究所第1回 公開講座	盛岡市教育研究所（遺跡の学び館）	11名
平成22年 ①8月17日（火）～8月21日（日） ②8月27日（金）～8月31日（日）	博物館実習 （①5日間、②5日間）	①盛岡大学3名、東京女子大学1名 ②東京学芸大学1名	5名



もりとびあネットイベント「ストラップ作り」



もりとびあネットシンポジウム「水の記憶」



博物館実習（発掘実習）



博物館実習（課題研究）

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日時	内 容	講師	依頼団体(会場)	参加者
平成22年9月4日(土)	「わくわくチャレンジふれあいの日」校舎外活動 トレジャーハンター講座	佐々木亮二 文化財主任	盛岡市立手代森小学校	90名
平成22年11月19日(金)	【出前講座】 「もりおかの遺跡—堀もれた先人たちの軌跡—」	佐々木亮二 文化財主任	下水井水寿会高齢者学級(多賀集会所)	30名
平成22年12月5日(日)	【出前講座】 「もりおかの遺跡—地域の遺跡道について—」	神原雄一郎 文化財主査	たたら山公民館コミュニティ学級—地域の文化と教養を高める—(たたら山公民館)	25名

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成22年2月2日(水)～4日(金)	平成22年度文化財等取扱講習会「入門コース：文化財の取扱に関する基礎知識と技術」	大平住澄 学芸調査員	財団法人岩手県文化振興事業団 岩手県立博物館
平成23年1月17日(月)～1月21日(金)	埋蔵文化財担当者専門研修「出土文字資料調査課程」	佐々木亮二 文化財主任	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成23年2月15日(火)～16日(水)	平成22年度岩手県史跡整備市町村協議会文化財行政担当職員研修会	神原雄一郎 文化財主査	大船渡市立博物館

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成22年8月5日(木)～6日(金)	平成22年度岩手県博物館等連絡協議会 総会・研修会	千田和文 館長補佐	奥州市えさし郷土文化館、 菊田一夫記念館、明治記念館

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会と調査成果報告会】

期 間	内 容	参加者
平成22年10月9日(土) 13:30～14:30	国指定史跡志波城跡第104次発掘調査—外郭西辺北部築地塀跡の調査—現地説明会(中太田法丁地内)	100名
平成22年10月16日(土) 13:30～14:30	館野前遺跡第1次調査現地説明会(上飯岡第15地割地内)	70名
平成23年3月6日(日) 13:30～15:00	第28回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する—平成22年度調査速報—」 関連事業「平成22年度調査成果報告会」	95名



志波城跡第104次発掘調査現地説明会(10月9日)



館野前遺跡第1次調査現地説明会(10月16日)

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
「盛南地区遺跡群発掘調査報告Ⅲ」－盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡 平成5～12年度発掘調査③ 台太郎遺跡	平成22年11月30日	350部	公的機関に配布
「志波城跡－平成20・21・22年度発掘調査概報－」	平成23年3月10日	350部	〃
「盛岡市内遺跡群－平成20・21年度発掘調査報告書－」	平成23年3月18日	350部	〃
「盛岡市遺跡の学び館 平成21年度館報」	平成23年2月28日	350部	〃

【展示会関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売の有無
第9回企画展「もりおかで焼かれた“やきもの”－セットモノから煉瓦まで－」【解説図録】	平成22年9月18日	200部	500円
第28回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する－平成22年度調査速報－」解説パンフレット	平成23年2月9日	2,000部	無料配布
遺跡の学び館特報	平成23年3月(予定)	500部	無料配布



刊行した調査報告書ほか



展示会図録・パンフレットほか

(8) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

(冊)

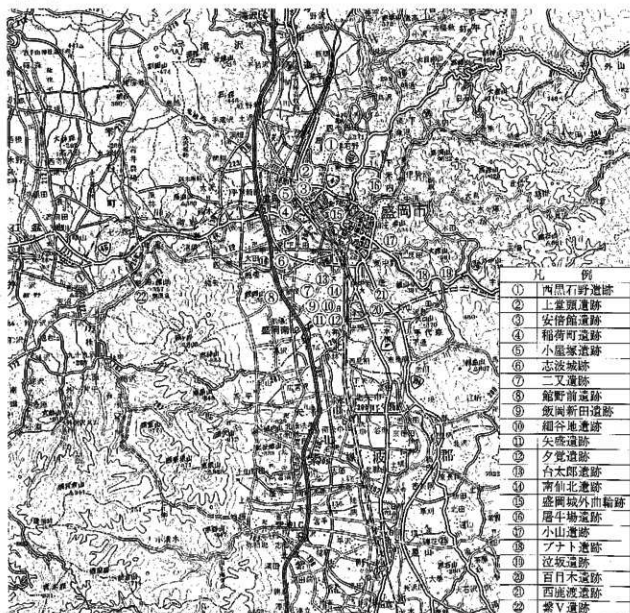
形態	分野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			平成21年度末	平成22年度増加分	
一般図書	発掘調査報告書		13,461	714	14,175
	考古学	概説書など	193	4	197
	歴史学	日本史・郷土史など	124	8	132
	民俗学	民具・民俗芸能など	4	3	7
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	27	0	27
	自然科学	動植物など	3	1	4
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	7	7	14
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	0	3	3
	その他	辞典・事典など	19	10	29
	資料集	図録・解説書・パンフ・レジュメなど	1,266	105	1,371
全集	3巻以上	366	35	401	
論集	論文集など	37	0	37	
通史	市町村史	244	1	245	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	3,308	172	3,480	
計			19,059	1,063	20,122

埋蔵文化財センターとして、全国各地の遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍および歴史関連書籍や論文集、一般刊行物、各種パンフレットなどの資料を主体に保管収集している。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に收藏のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 埋蔵文化財発掘調査

平成22年度に市教育委員会が実施した発掘調査は遺跡の学び館及び事務局歴史文化課で試掘調査が19件、本調査は13件の計32件である。内訳は大規模区画整理事業関連による調査（試掘含む）が6件、学校増改築に伴う調査が1件、民間開発関連では、福祉施設建設に伴う調査（試掘含む）5件、寺院の増改築（試掘含む）2件、宅地造成が3件、店舗・診療所及び共同住宅・貸家住宅建築が5件、通行施設設置・砂利採取に伴う調査が2件、個人住宅建築等に伴う調査が8件で、調査総面積は25,777㎡となっている。

面積的には盛岡新都市開発整備事業関連が最も多く、5遺跡6地点で実施され、調査面積は19,218㎡で全体の7割以上を占める。また市域で調査が多く実施されたのは盛岡開発・民間事業を含めても太田・向中野・飯岡・仙北の北上川西岸地区が19地点と半数以上を占め、他に上田地区1地点、厨川地区5地点、中津川地区3地点、築川地区2地点、繁地区1地点、盛岡城跡を取り巻く旧市街地区1地点となっており、また玉山地区では22年度は調査等は実施されていない。本館報では遺構・遺物が検出された発掘調査（本調査・試掘調査）を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。



第2図 平成22年度調査遺跡位置図 (S=1:200,000)

表2 平成22年度埋蔵文化財発掘調査(本調査・試掘調査)一覧

(歴史文化課・道路の学び館寄付)

区分	No.	遺跡名	次数	所在地	調査事由	調査期間	調査面積 (㎡)	遺構・出土遺物
本	1	飯岡新田遺跡	13	飯岡新田1地割48-1ほか		6/1-6/20	5,730	奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟、竪穴状遺構1棟、土坑1基、溝跡2条、遺物：奈良・平安時代の土師器(赤・黒)コナナ2物
	2	絶谷地遺跡	27	向中野字野原35-5		7/12-7/28	275	時期不詳の土坑4基、出土遺物なし
	3	矢巻遺跡	28	向中野字野原55-112ほか	土地区画整理	8/17-12/17	11,213	1区：時期不詳の土坑10基、溝跡1条、出土遺物なし。2区：時期不詳の土坑9基、溝跡1条、出土遺物なし。3区：溝跡・遺物なし
	4	夕雲遺跡	7	飯岡新田第3地割3212		9/9-9/17	854	遺構・遺物なし
	5	夕雲遺跡	8	飯岡新田第6地割14		10/6-10/15	600	遺構・遺物なし
	6	台北路遺跡	72	向中野字向中野35-34ほか		10/21-12/17	506	奈良時代の竪穴住居跡1棟、時期不詳の竪穴状遺構2条、土坑5基、溝跡4条、ピット17口、遺物：奈良時代の土師器(赤・黒)、2区・3区：遺構・遺物なし
	7	鷲V遺跡	37	鷲字館市114-1	小学校校舎増改築	7/5-7/13	18	奈良時代の竪穴住居跡2棟、遺物：縄文時代中期～後期の土器、石器などコナナ13箱類19年度からの総括調査
	8	西宮浅瀬跡	25	二本柳第2地割23-14ほか	民間保育施設建設	5/6-5/31	750	奈良時代の竪穴住居跡1棟、時期不詳の竪穴状遺構2条、土坑1基、遺物(奈良・平安時代の土師器、原形器コナナ1物)
調	9	上堂原遺跡	11	上堂4丁目8-112ほか	民間福祉施設建設	7/15-7/28	690	縄文時代の陥穽土坑16基、円形土坑2基、時期不詳の柱列1列、出土遺物なし
	10	絶野前遺跡	1	上飯岡第15地割2番	寺院増改築	8/2-8/5 (試掘) 9/1-10/26 (本調査)	924	平安時代の竪穴住居跡3棟、平安～江戸時代の土坑16基、江戸時代の溝跡4条、柱穴300口、水場遺構1カ所、遺物(平安時代の土師器・須恵器コナナ3物)、江戸時代の磁石・陶磁器・古銭・埋蔵金など
	11	二又遺跡	9	下飯岡第1地割59-9		5/6-6/10	500	平安時代の竪穴住居跡3棟、竪穴状遺構3棟、土坑3基、遺物(平安時代の土師器・須恵器コナナ3物)
	12	二又遺跡	10	下飯岡第1地割55-1		6/4-6/9	40	平安時代の竪穴住居跡2棟、遺物(平安時代の土師器・須恵器コナナ1物)
	13	西黒石野遺跡	13	黒石野2丁目335-22、33-24	個人住宅建築	6/10-6/29	350	縄文時代前期の竪穴住居跡1棟、貯蔵穴状の土坑4基、江戸時代の土溝高11基、遺物(縄文時代前期の土器、江戸時代の染付磁器類3点・寛永瓦42枚・新瓦4枚・埋蔵金2種)
	14	小山遺跡	35	東中野町17-1		7/26-8/23	200	縄文時代前期～前期末～中期の土器・石器などコナナ5物
	15	志波城跡	104	中人田法170-5		9/14-10/15	184	志波城跡(9世紀初期)外郭遺構S F170整築跡、S D170築造外溝跡、S D175築造内溝跡、遺物(9世紀初期)あかやき土器小断片
試	16	塚野有延跡(試掘調査)	27	塚野町14-6、14-3の一部	民間福祉施設建設	4/22	134	遺構・遺物なし
	17	西園浅瀬跡(試掘調査)	26	二本柳第2地割33-2、33-3	宅地造成	4/23	367	奈良時代の竪穴住居跡4棟確認、同時代の土師器片を出土
	18	百三木遺跡(試掘調査)	31	二本柳(4地割7)の一部	宅地造成	5/17	60	遺構・遺物なし
	19	上堂原遺跡(試掘調査)	11	上堂4丁目8-112ほか	民間福祉施設建設	5/20	(261)	縄文時代の陥穽土坑土坑7基、時期不詳土坑3基、ピット8箇所 出土遺物なし
	20	二又遺跡(試掘調査)	10	下飯岡第1地割55-1	農業用倉庫建築	6/3	(77)	平安時代の竪穴住居跡2棟確認、同時代の土師器片(土師器・須恵器)を出土
	21	塚野有延跡(試掘調査)	2	山田3丁目14-1	個人住宅建築	6/4	118	遺構・遺物なし
	22	小山遺跡(試掘調査)	34	東中野町17-1	個人住宅建築	6/10	(84)	縄文時代前期～中期の遺物を含む確認、平安時代の土師器・須恵器及び瓦葺陶磁器片を出土
	23	安宿浅瀬跡(試掘調査)	89	安宿町町213-1	共同住宅建築	7/1	96	遺構なし 遺物(縄文土器断片1点)
	24	絶野前遺跡(試掘調査)	1	上飯岡第15地割2.2-10	寺院増築	7/14	(170)	平安時代の竪穴住居跡2棟、同時代以降の土坑2基、溝跡4条、中世以降の柱穴20口を確認 遺物：平安時代の土師器片(土師器・須恵器)を出土
	25	アト遺跡(試掘調査)	1	川口町8地割62-4の一部	砂利採取	7/29	442	遺構なし 遺物：縄文土器断片1点
	26	台北路遺跡(試掘調査)	71	向中野1丁目10、15地内、2丁目7-2	店舗建築ほか	2010/8/9-8/12、8/18	1,341	奈良・平安時代の竪穴住居跡32棟、古代以降の土坑7基、溝跡8条、中世以降の小柱穴2口 遺物：奈良・平安時代の土師器片(土師器・須恵器)を出土
	27	壺川城外南輪跡(試掘調査)	11	本町通り丁目26212ほか	跡地再建築	9/7	71	江戸時代の陥穽1条、遺物：江戸時代の染付磁器片
本	28	乳野遺跡(試掘調査)	5	西見町第15地割53-0番ほか	民間福祉施設建設	10/27	36	遺構・遺物なし
	29	百三木遺跡(試掘調査)	32	二本柳第4地割411ほか	宅地造成	12/2	86	遺構・遺物なし
	30	近東遺跡(試掘調査)	1	川口町6地割89-21の一部	アンテナ設置	12/15	68	遺構・遺物なし
	31	小坂原遺跡(試掘調査)	38	大新町2-3	共同住宅建築	1/27	50	遺構・遺物なし
	32	南黒石野遺跡(試掘調査)	40	南黒石2丁目11-33	個人住宅建築	2/8	36	遺構・遺物なし
							計	25,777

※()内は本調査面積に含まれる

○公共事業関連（市公共工事関連）

(1) 繫V遺跡第37次調査（19年度からの継続調査）

- | | | | |
|--------|--------------|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市繫字館市114-1 | 2 調査事由 | 学校増改築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成22年7月5日～7月13日 |
| 5 調査面積 | 18㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 佐々木紀子 |
- 7 検出遺構 縄文時代中期竪穴住居跡2棟
8 出土遺物 縄文時代中期～後期の土器・石器などコンテナ13箱
9 調査概要 遺跡は市街地の西部、東流する雫石川（御所湖）南岸の段丘上に立地。昭和26年（1951）、繫小学校（当時）の校庭整地工事の際に7個体の深鉢形土器（重要文化財）が発見されている。平成19年度からの継続調査で、昨年度の第36次調査区に隣接し、旧校舍建設時の造成・削平の少ない部分から遺構・遺物が確認されている。



繫V遺跡第37次調査区位置図

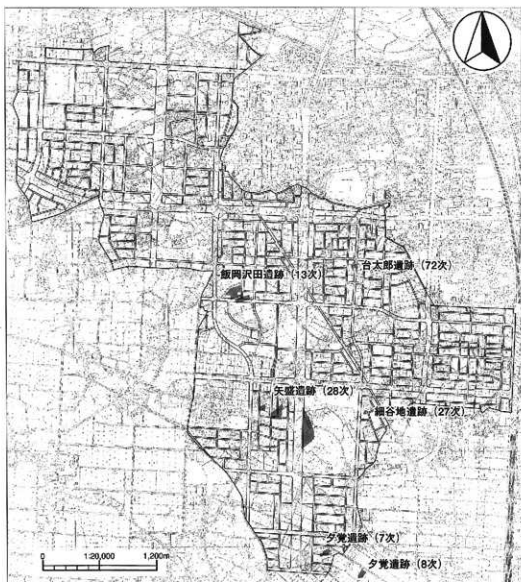


調査区全景

○公共事業関連（盛岡南新都市開発整備事業）

(1) 盛南地区遺跡群一飯岡沢田遺跡第13次調査、細谷地遺跡第27次調査、矢盛遺跡第28次調査、夕覚遺跡第7・8次調査、台太郎遺跡第72次調査一

盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）等の大規模区画整理事業に伴うもので、盛岡市都市整備部及び(独)都市再生機構は(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター及び市教育委員会（遺跡の学び館）に発掘調査の業務を委託し、遺跡の学び館では5遺跡6地点の調査を担当した。遺跡群は北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地し、段丘の基本層序は基底部が水成砂礫層、上部に水成シルト層～表土で、定まらない雫石川の複雑な河道変遷により、シルト層は旧河道のみならず微高地にも堆積し、古代集落はその微高地に多く分布する。台太郎遺跡は事業区内最大の古代集落跡～中世の居館跡で、今までに約600棟の奈良・平安時代の竪穴住居跡を検出。第72次調査は1～3区の3地点で実施され、1区から奈良時代の竪穴住居跡1棟、時期不詳の竪穴状遺構2基、土坑5基、溝跡4条及び小柱穴など、旧河道を挟んで西隣する飯岡沢田遺跡第13次調査では奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟、時期不詳の竪穴状遺構1棟、土坑5基、溝跡2条など、台太郎遺跡の南方に位置する細谷地遺跡第27次調査では、時期不詳の土坑4基、細谷地遺跡の西方に位置する矢盛遺跡第28次調査では1～3区の3地点で調査が実施され、1区から時期不詳の土坑10基、溝跡1条、2区からも時期不詳の土坑9基、溝跡1条などが検出された。



第3図 平成22年度 盛南地区発掘調査位置図



飯岡沢田遺跡第13次調査区全景



矢盛遺跡第28次調査区全景

夕覚遺跡は事業区内の南端部、台太郎遺跡の南方約1.6kmに位置し、旧河道により南北が低地化した東西方向に長い微高地に立地する。周辺域の分布調査により、古代の遺物が確認されているため、第7・8次調査として試掘調査を2地点で実施したが、今次調査区内では遺構・遺物を確認することはできなかった。

○民間開発関連

(1) 上堂頭遺跡第11次調査

- 1 調査地 盛岡市上堂4丁目8-1ほか
- 2 調査事由 民間福祉施設建設
- 3 調査方法 試掘調査～本調査
- 4 調査期間 <試掘調査>平成22年5月20日
<本調査>平成22年7月15日
～7月28日
- 5 調査面積 690㎡ 6 調査員 佐々木亮二
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状遺構8基、円形土坑2基、時期不詳の柱列1列
- 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、北上川右岸の火山灰性砂台地の緩斜面に立地している。現況は果樹園で、老人福祉施設建設に伴う事前調査として申請箇所内、大幅に掘削される部分を対象に本調査を実施した。調査区内の地形は、北東から南西にかけての緩斜面で比高差は約3～3.5m、標高値は148.000～151.500mをはかる。縄文時代の陥し穴状遺構やや平坦な北東部に集中し、ほかに円形土坑、時期不詳の柱列なども検出した。



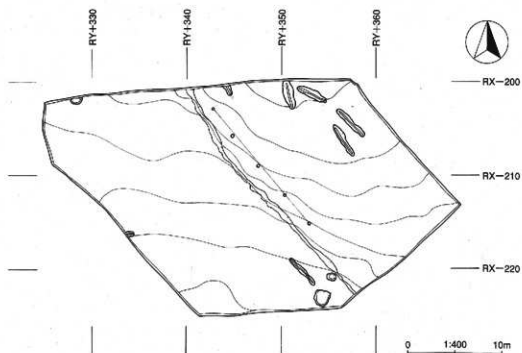
上堂頭遺跡第11次調査区位置図



調査区全景



陥し穴状遺構の検出状況



第4図 上堂頭遺跡第11次調査区全体図 (1:400)

(2) 西鹿渡遺跡第25次調査

- 1 調査地 盛岡市三本柳第2地割32-1
- 2 調査事由 民間福祉施設建設
- 3 調査方法 本調査
- 4 調査期間 平成22年5月6日～5月31日
- 5 調査面積 750㎡
- 6 調査員 菊地幸裕・鈴木賢治
- 7 検出遺構 奈良時代の竪穴住居跡1棟、時期不詳の竪穴状遺構2基、土坑1基



西鹿渡遺跡第25・26次調査区位置図

- 8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器・須恵器コンテナ1箱
- 9 調査概要 遺跡は市街地から南東3.5km、都南地区の北上川右岸の自然堤防上（低位段丘）に立地し、遺跡は南北約600m、東西約350mの規模で、古代の大規模集落跡が確認された百目木遺跡の北部に位置する。平成21年度の試掘調査の結果に基づき、本調査を実施。耕作による削平や攪乱が著しく、遺構の遺存状況は極めて不良であったが、調査区東半部から8世紀代の所産と考えられる竪穴住居跡、中央部からはカマドが存在しない竪穴状遺構が検出されているが、あかやき土器坏・須恵器壺を伴出することから平安時代に帰属する可能性が高い（本報告刊行済み）。



調査区全景



検出された竪穴住居跡

(3) 西鹿渡遺跡第26次調査

- 1 調査地 盛岡市三本柳第2地割33-2,33-3
- 2 調査事由 宅地造成
- 3 調査方法 トレンチによる試掘調査
- 4 調査期間 平成22年4月23日
- 5 調査面積 367㎡
- 6 調査員 今野公顕
- 7 確認遺構 奈良時代の竪穴住居跡4棟確認
- 8 出土遺物 奈良時代の土器破片を確認

調査概要 遺跡は市街地南部の都南地区、北上川右岸の自然堤防上（低位段丘）に立地し、古代の大集落跡が確認された百目木遺跡の北部に位置する。

第25次調査区に隣接する地点で、東西方向5本のトレンチを設定し、検出作業を行い、調査区中央部から竪穴住居跡4棟を確認した（遺構検出のみ）。



試掘調査状況

(4) 館野前遺跡第1次調査 (本報告刊行済み)

- 1 調査地 盛岡市上飯岡第15地割2、2-10
- 2 調査事由 寺院改築
- 3 調査期間 〈試掘調査〉平成22年7月14日
〈本調査〉平成22年8月2日～8月5日、9月1日～10月26日
- 4 調査方法 試掘調査～本調査
- 5 調査面積 924㎡
- 6 調査員 佐々木亮二
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡5棟、平安～江戸時代の土坑15基、江戸時代の経塚1基、溝跡4条、柱穴300口、水場遺構1カ所
- 8 出土遺物 平安時代の土師器・須恵器コンテナ3箱、江戸時代の経石・陶磁器・古銭・鎌など
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南東部、中世城館が位置する飯岡山山麓に近い低位段丘に立地。室町期創建とされる飯嶋山長善寺境内の山門近くから江戸時代の経塚が発見された。また本堂に隣する調査区からは江戸時代の遺構のほか、平安時代の遺構も検出され、古代集落跡の存在が確認された。



館野前遺跡第1次調査区位置図



調査区全景

(5) 台太郎遺跡第71次調査

- 1 調査地 盛岡市向中野1丁目10、15、2丁目7-2地内
- 2 調査事由 店舗建築ほか
- 3 調査方法 トレンチによる試掘調査
- 4 調査期間 平成22年8月9日～8月12日、8月18日
- 5 調査面積 1,341㎡
- 6 調査員 今野公顕・花井正香
- 7 確認遺構 奈良・平安時代の竪穴住居跡32棟、古代以降の土坑7基、溝跡8条、中世以降の小柱穴2口平安時代の掘立柱建物跡柱穴1口、土坑7基、溝跡1条
- 8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器・須恵器破片
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南部、北上川と零石川によって形成された沖積段丘上縁辺部に立地。住宅地に残された畑地3地点の全体面積12,200㎡にトレンチを35カ所設定。試掘調査の結果、各地点から古代の竪穴住居跡等の遺構群が確認され、高密度の大集落跡であることが判明した(遺構検出のみ)。



台太郎遺跡第71次調査区位置図



調査区全景 (試掘調査状況)

(6) 盛岡城外曲輪跡第11次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|-----------|
| 1 調査地 | 盛岡市本町通1丁目262ほか | 2 調査事由 | 診療所建築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成22年9月7日 |
| 5 調査面積 | 71㎡ | 6 調査員 | 室野秀文 |
| 7 確認遺構 | 江戸時代の堀跡1条 | 8 出土遺物 | 江戸時代の磁器破片 |
- 9 調査概要 調査区は、国指定史跡盛岡城跡本丸から北方700mの外曲輪北辺に位置する。調査は試掘トレンチ内で行われたが、幅25m内外の堀跡内部に位置することが確認され、本町通側から投棄された堆積土から江戸時代の染付皿破片が4点出土した。



盛岡城外曲輪跡第11次調査区位置図



調査区全景 (試掘調査状況)

○個人住宅建築等

(1) 二又遺跡第9次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下飯岡第1地割59-9 | 2 調査事由 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成22年5月6日～6月10日 |
| 5 調査面積 | 500㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二 |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡3棟、竪穴状遺構5棟、土坑3基
- 8 出土遺物 平安時代の土師器・須恵器コンテナ3箱
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、北上川と零石川によって形成された沖積段丘に立地する。3月実施の試掘調査で確認された遺構の精査で、調査区北部から東半部にかけて住居群・竪穴群が検出され、過去の調査成果からみて、現在住宅や畑地が集中する微高地全体に平安期の集落が分布していることが判明した。



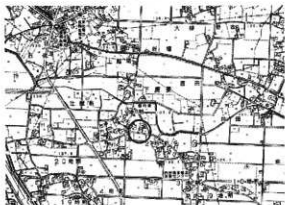
二又遺跡第9次調査区位置図



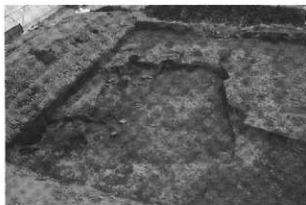
調査区全景

(2) 二又遺跡第10次調査

- 1 調査地 盛岡市下飯岡第1地割55-1
- 2 調査事由 農業用倉庫建築はか
- 3 調査方法 試掘調査～本調査
- 4 調査期間 <試掘調査>平成22年6月3日 <本調査>平成22年6月4日～6月9日
- 5 調査面積 40㎡
- 6 調査員 佐々木亮二
- 7 検出遺構 平安時代の堅穴住居跡2棟
- 8 出土遺物 平安時代の土師器・須恵器コンテナ1箱
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、北上川と雫石川によって形成された沖積段丘の微高地に立地。9次調査区の南方に位置し、当初トレンチによる試掘調査を実施した。結果、調査区東半部から重複した2棟の平安時代の堅穴住居跡を検出・精査した。



二又遺跡第10次調査区位置図



第10次調査検出遺構

(3) 西黒石野遺跡第13次調査

- 1 調査地 盛岡市黒石野2丁目35-22、35-24
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 本調査
- 4 調査期間 平成22年6月10日～6月29日
- 5 調査面積 350㎡
- 6 調査員 神原雄一郎
- 7 検出遺構 縄文時代前期の堅穴住居跡1棟、貯蔵穴状の土坑4基、江戸時代の土坑墓11基
- 8 出土遺物 縄文時代前期の土器、江戸時代の染付陶磁器碗3点・古銭：寛永通宝42枚、柄鏡4枚、銅製管2本
- 9 調査概要 遺跡は市街地北部、南流する北上川の左岸、さらに北東部から北上川に注ぐ旧達曾部川の北岸の段丘南西端の緩斜面に立地。調査区南東部から市内で類例の少ない縄文時代前期の堅穴住居跡及び土坑群を検出。その周辺からは17・18世紀代の陶磁器が副葬された近世墓塚群も確認されている。



西黒石野遺跡第13次調査区位置図



調査区全景

(4) 小山遺跡第35次調査

- 1 調査地 盛岡市東中野町17-1
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 試掘調査～本調査
- 4 調査面積 200㎡
- 5 調査期間〈試掘調査〉平成22年6月10日 〈本調査〉平成22年7月26日～8月23日
- 6 調査員 神原雄一郎
- 7 検出遺構 縄文時代前期末の竪穴住居跡1棟
- 8 出土遺物 縄文時代早期～前期末～中期の土器・石器などコンテナ5箱
- 9 調査概要 遺跡は市街地の東部、標高341mの岩山南麓に形成した丘陵～緩斜面に立地。遺跡は昭和30年代から知られる縄文時代中期の集落跡で、今回の調査では、竪穴住居跡1棟が検出されたが、出土した遺物については、周辺地形の改変が著しく、流れ込みにより形成されたものと考えられる。



小山遺跡第35次調査区位置図



調査区全景

(5) 国指定史跡 志波城跡第104次調査

- 1 調査地 盛岡市中太田法丁70-5
- 2 調査事由 個人住宅建築（現状変更）
- 3 調査方法 遺構確認調査
- 4 調査期間 平成22年9月14日～10月15日
- 5 調査面積 184㎡
- 6 調査員 今野公顕
- 7 検出遺構 志波城跡外郭西辺SF170築地堀跡、SD170築地外溝跡、SD175築地内溝跡
- 8 出土遺物 遺物（9世紀初頭）あかやき土器小破片
- 9 調査概要 市街地の南西部、北下川と雫石川で形成された低位沖積段丘面に立地。国指定史跡内の個人住宅建替えの現状変更に伴う事前確認調査として実施。今次調査区は外郭西辺築地線南端から北へ450mに位置し、今まで確認されていなかった外郭西辺の築地堀本体の位置と構造を確認することができ、外郭南辺と同様の規模で囲郭されていることが判明した（遺構保護措置：報告書刊行済み）。



志波城跡第104次調査区位置図



外郭西辺築地堀跡

報告書抄録

ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
書名	所在地	市町村	町区画番号	(世界測地系)			
ありがな	もりおかしせきのまなびかん	03201	39° 42' 26"	141° 01' 08"	2010.7.5~7.13	18	小学校校舎増改築
書名	愛宕市遺跡の学び館		39° 40' 53"	141° 08' 18"	2010.6.1~12.17	19,218	大規模区画整理
編著者名	下村和文 菊地裕平 沖嶋知弘 神原雄一郎 佐々木亮二 鈴木實治 佐々木紀子		39° 39' 52"	141° 09' 49"	(25次) 2010.5.6~5.31 (26次) 2010.4.23	(25次) 750 (26次) 367	(25次) 民明福祉施設増改築 (26次) 宅地造成
編集機関	愛宕市遺跡の学び館		39° 43' 55"	141° 07' 17"	(試掘) 2010.5.20 (本調査) 2010.7.15~7.28	690	民間福祉施設建設
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市木宮字荒塚13番地1 TEL 019 635 6600		39° 40' 08"	141° 06' 16"	(試掘) 2010.8.2~8.5 (本調査) 2010.9.1~10.26	924	寺院増改築
発行年月日	2012年3月31日		39° 40' 57"	141° 08' 25"	(試掘) 2010.8.9~8.12,8.18	1,341	店舗増改築
ふりがな	紫V遺跡(37次)		39° 42' 32"	141° 09' 18"	(試掘) 2010.9.7	71	診療所建築
書名	盛岡地区遺跡群(5遺跡6地点)		39° 40' 19"	141° 07' 02"	(9次) 2010.5.6~6.10 (10次) 2010.6.3~6.9	(9次) 500 (10次) 40	個人住宅建築
編著者名	下村和文 菊地裕平 沖嶋知弘 神原雄一郎 佐々木亮二 鈴木實治 佐々木紀子		39° 44' 20"	141° 08' 50"	2010.6.10~6.29	350	個人住宅建築
編集機関	愛宕市遺跡の学び館		39° 41' 45"	141° 10' 25"	2010.6.10 (本調査) 2010.7.26~8.23	200	個人住宅建築
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市木宮字荒塚13番地1 TEL 019 635 6600		39° 41' 18"	141° 06' 44"	2010.9.14~10.15	184	個人住宅建築の現状変更に伴う事前調査
発行年月日	2012年3月31日						
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
紫V遺跡(37次)	集落遺跡	縄文時代中期~後期	中期壑穴住居跡2棟		縄文時代中期~後期の土器・石器など		平成19年度からの発掘調査
盛岡地区遺跡群(5遺跡6地点)	集落遺跡	奈良・平安時代	壑穴住居跡、壑穴状遺構、土坑、溝跡、小ピットなど		土師器・須恵器		平成15年度からの発掘調査
西鹿渡遺跡(25次)	集落遺跡	奈良・平安時代	壑穴住居跡1棟、壑穴状遺構2基、土坑1基		土師器・須恵器		
西鹿渡遺跡(26次)	集落遺跡	奈良・平安時代	壑穴住居跡4棟		土師器		遺構検出のみ
上堂類遺跡(11次)	集落遺跡	縄文時代	陥穴状土坑2基、円形土坑2基、貯蔵土坑の柱列1列		山土遺物なし		
蛸野前遺跡(1次)	集落遺跡	平安時代	壑穴住居跡5棟		土師器・須恵器		
台太郎遺跡(71次)	集落遺跡	奈良・平安時代	竪穴1基、竪立柱建物跡1棟、柱列跡1条、土坑15基、溝跡4条、溜穴遺構1基、柱穴297口		経石(一丁一石型)、陶磁器・古銭・磨石・砥石		江戸時代の「一丁一石」様式は調査後、遺土埋没
盛岡城外曲輪跡(11次)	集落遺跡	江戸時代	壑穴住居跡32棟、古代以降の土坑7基、溝跡8条、中世以降の小柱穴2口		土師器・須恵器破片		平成23年度本調査予定
二又遺跡(9次)	集落遺跡	奈良・平安時代	壑穴住居跡3棟、壑穴状遺構5棟、土坑3基		炭付皿破片		
二又遺跡(10次)	集落遺跡	奈良・平安時代	壑穴住居跡2棟		土師器・須恵器		試掘→本調査
西黒石野遺跡(13次)	集落遺跡	江戸時代	壑穴住居跡1棟、貯蔵穴状の土坑4基		縄文時代早~前期の土器破片		
小山遺跡(35次)	集落遺跡	縄文時代	土輪墓11基		陶磁器破片3点、瓦水通宝42枚、銅貨4枚、銅貨判2本		
志波城跡(104次)	城跡	平安時代	前期末の壑穴住居跡1棟		縄文時代早期~前期末~中期の土器・石器など		
			外郭西辺S#170集地跡跡、S.D170集地外溝跡、S.D175集地内溝跡		9世紀初葉のあかやき土器小破片		遺構保存措置

盛岡市遺跡の学び館 平成22年度 館報

2012年3月31日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html>

印刷 株式会社 阿部印刷
〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町2番2号
電話 019-624-2242